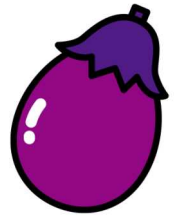


ナスビの学校



学びの土台をつくろう

自分の成長を加速させるため…… 成長マインドセットでいこう!!

自分の成長を加速させるためには、どのようなマインドセット(意識・心の持ち方・考え方・価値観)を持てばよいのでしょうか。キャロル・S・ドウエックさんはその著書『マインドセット』やればできる!」の研究』において、その答えを明快に論じています。

「硬直マインドセットをもつ人」とは、「自分の能力は石板に刻まれたように固定的で変わらないと信じている人」です。それに対して「しなやかマインドセットをもつ人」とは、「人間の基本的資質は努力しだいで伸ばすことができるという信念をもっている人」で

す。どちらのマインドセットが自分の成長を加速させるのかは明らかです。自分がどのようなバランスでこの2つのマインドセットを持ち合わせているかを調べるためには、テストが返却された瞬間を振り返ってみるとよいでしょう。硬直マインドセットを強く持っている人は、テストの点数ばかりに着目してしまいがちです。「怒られること」や「他者と比べられること」をひどく心配してしまいがちです。点数が付くから、これらの反応は当然です。しかし、あまりに点数に着目しすぎることで、テスト本来の目的(自分の到達点を知り、さらに力を伸ばすため)はどうすればよいかわかる(こと)を見失ってしまふことにもなります。硬直マインドセットが強すぎると、テストのふりかえりが中途半端になってしまふこともあります。

一方、しなやかマインドセットを強く持っている人は、「自分がどこを間違えたのか」「なぜ間違えてしまったのか」「次、同じような間違いをしないためにはどうすればよいのか」を考えることに力を置きまふ。このマインドセットをより強く持つことによって、テスト本来の目的をよりよく実現していくことができるでしょう。

あなたは「硬直マインドセット」と「しなやかマインドセット」をどのようなバランスで持っているでしょうか。まずは自分自身をメタ認知することからはじめませんか?

「知識」って?

私たちは「知識」と同様に、私たちが「知識」についてもいくつかの考え方をもっているでしょう。

みなさんは「あなたは知識をどのようなものとして捉えていますか?」と問われたら、どのように答えることができるでしょうか。おそらく、そこで出てきた答えが、自分自身ももっている「知識観」であり、「知識のイメージ」となっているはずですよ。そして、この「知識観」や「知識の

イメージ」は自分自身の学び方に大きな影響を与えることとなります。今井むつみさんはその著書『学びとは何か』のなかで、次のように言っています。

「略…、どのように学べばよいのか、ということとを考えるためには「知識とは何か」という問題を避けて通れない。知識に対する考え方、イメージが異なれば、自ずと学びの理想像とそのため学び方が異なってくるからである。」

たとえば、「知識とは覚えた単語の量なのだ」という「量的」知識観をもっている人は、授業や家庭学習を通して、たくさんの単語を暗記することに力を注ぐようになります。一方、「知識とはスライムのように状況によって姿を変えるものだ」という「質的」知識観をもっている人は、学んだことを状況に応じて活用していくことに力を注ぐはずですよ。「量的」な成長が「質的」な成長を支えることもありますし、またその逆もあります。大切なのは、マインドセットのときと同様、「自分はいったいどのような知識観をもっ

<p>理想の自分の頭の中</p>	<p>今の自分の頭の中</p>
------------------	-----------------

ているかをメタ認知することでしょう。そのためのおもしろい方法があります。それは「自分の頭の中」をイラストで表現してみることです。このとき「今の自分の頭の中」と「理想とする頭の中」を並べて描いてみることで、できると、メタ認知も促進され、これからの学びへの向かい方も見えてきます。さっそくやってみましょう。

今回はマインドセットや「知識観」についての話題でした。第2号でお知らせした「新たな学びのモデル」には、「学びについての前向きなマインドセットを育てていくこと」をヴィジョンとして掲げています。成長を加速させていくことができるマインドセットや「知識観」をぐんぐん伸ばしていく授業に、私たちはこれからも挑戦し続けます。